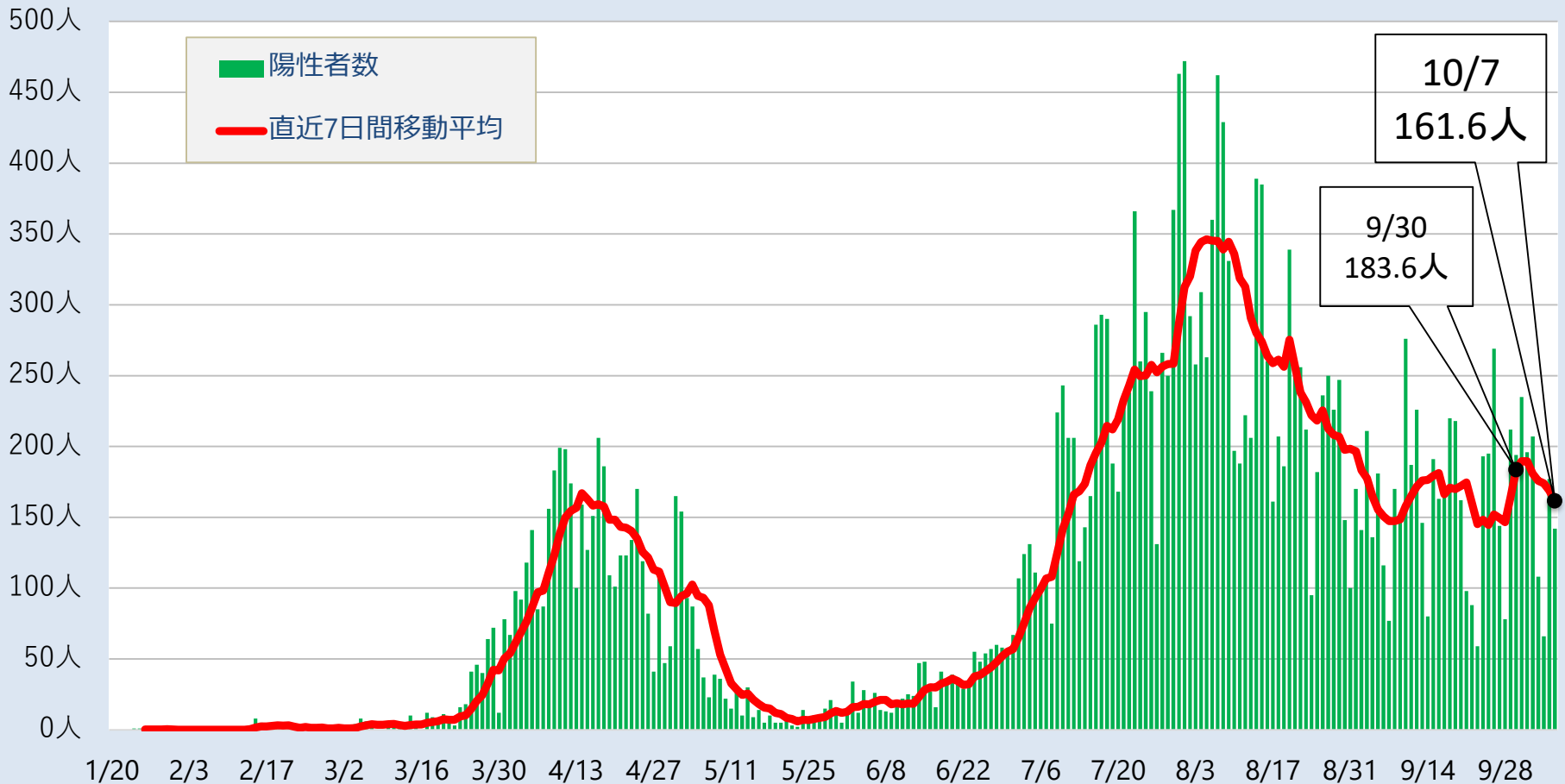


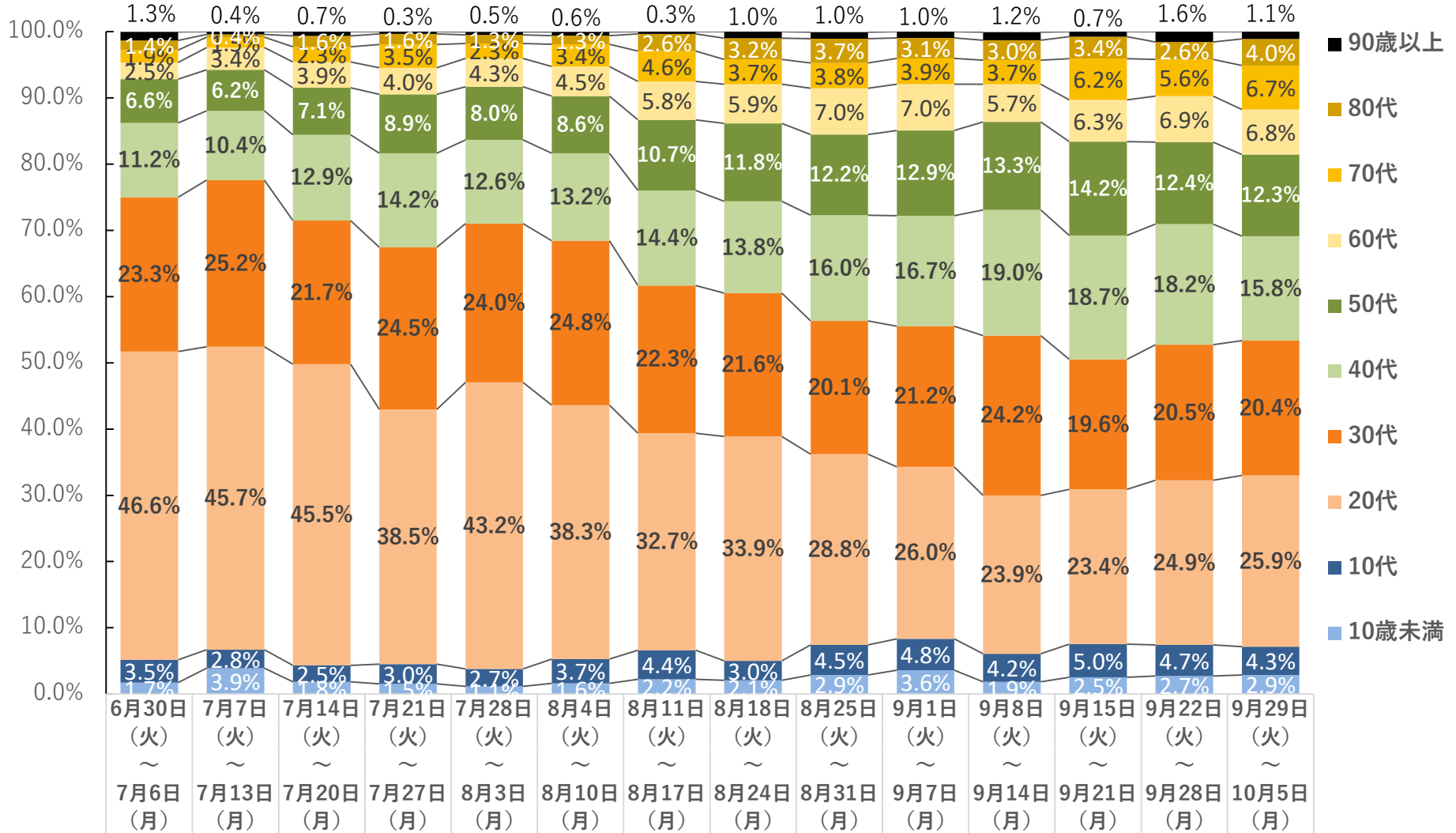
【感染状況】 ①-1 新規陽性者数

- 新規陽性者数の7日間平均は減少した。
- 新規陽性者数は、高い水準で推移しており、再び増加傾向となることへの警戒が必要である。

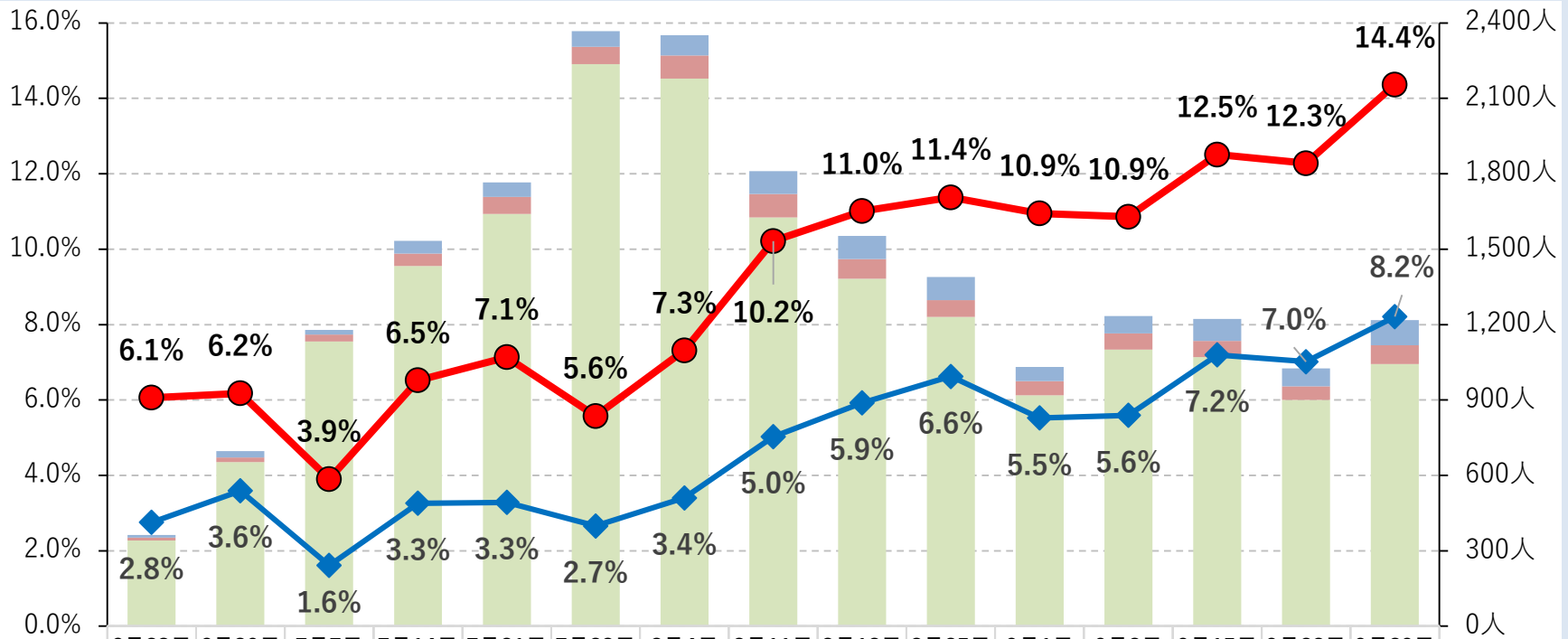


(注) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を陽性者数として算出

【感染状況】 ①-2 新規陽性者数（年代別）



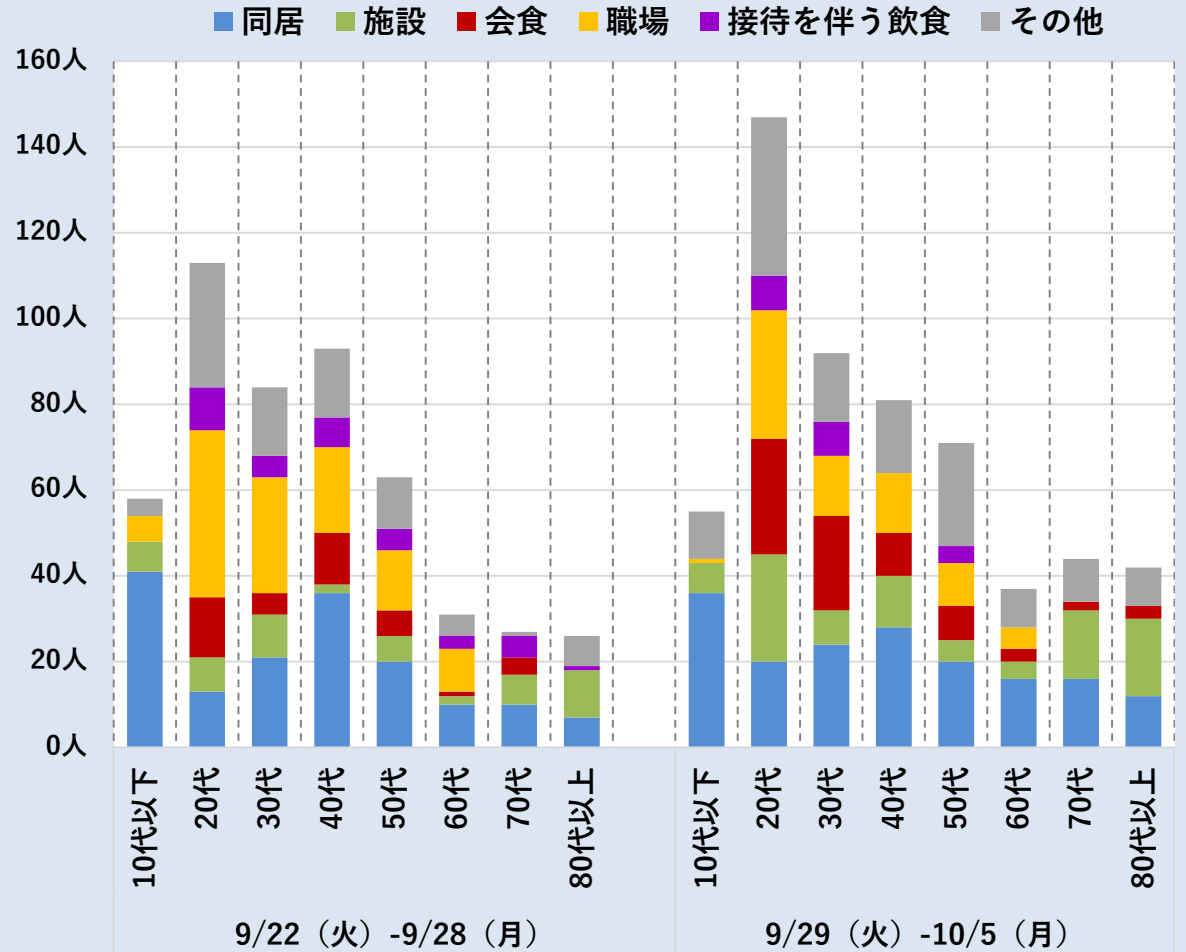
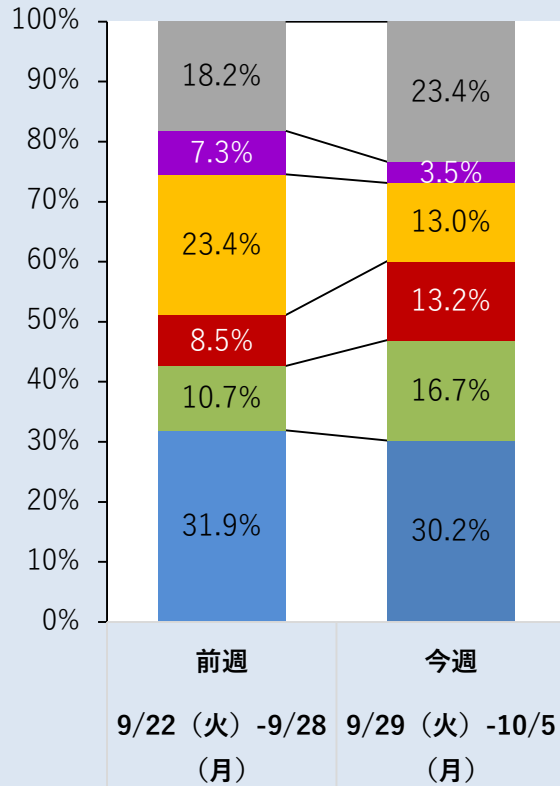
【感染状況】 ①-3 新規陽性者数（65歳以上）



6月23日	6月30日	7月7日	7月14日	7月21日	7月28日	8月4日	8月11日	8月18日	8月25日	9月1日	9月8日	9月15日	9月22日	9月29日
(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)	(火)
～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
6月29日	7月6日	7月13日	7月20日	7月27日	8月3日	8月10日	8月17日	8月24日	8月31日	9月7日	9月14日	9月21日	9月28日	10月5日
(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)	(月)
10人	25人	19人	50人	58人	63人	80人	91人	92人	92人	57人	69人	88人	72人	100人
12人	18人	27人	50人	68人	69人	92人	94人	79人	66人	56人	65人	65人	54人	75人
341人	653人	1,133人	1,433人	1,640人	2,236人	2,179人	1,626人	1,382人	1,231人	919人	1,100人	1,070人	900人	1,043人
6.1%	6.2%	3.9%	6.5%	7.1%	5.6%	7.3%	10.2%	11.0%	11.4%	10.9%	10.9%	12.5%	12.3%	14.4%
2.8%	3.6%	1.6%	3.3%	3.3%	2.7%	3.4%	5.0%	5.9%	6.6%	5.5%	5.6%	7.2%	7.0%	8.2%

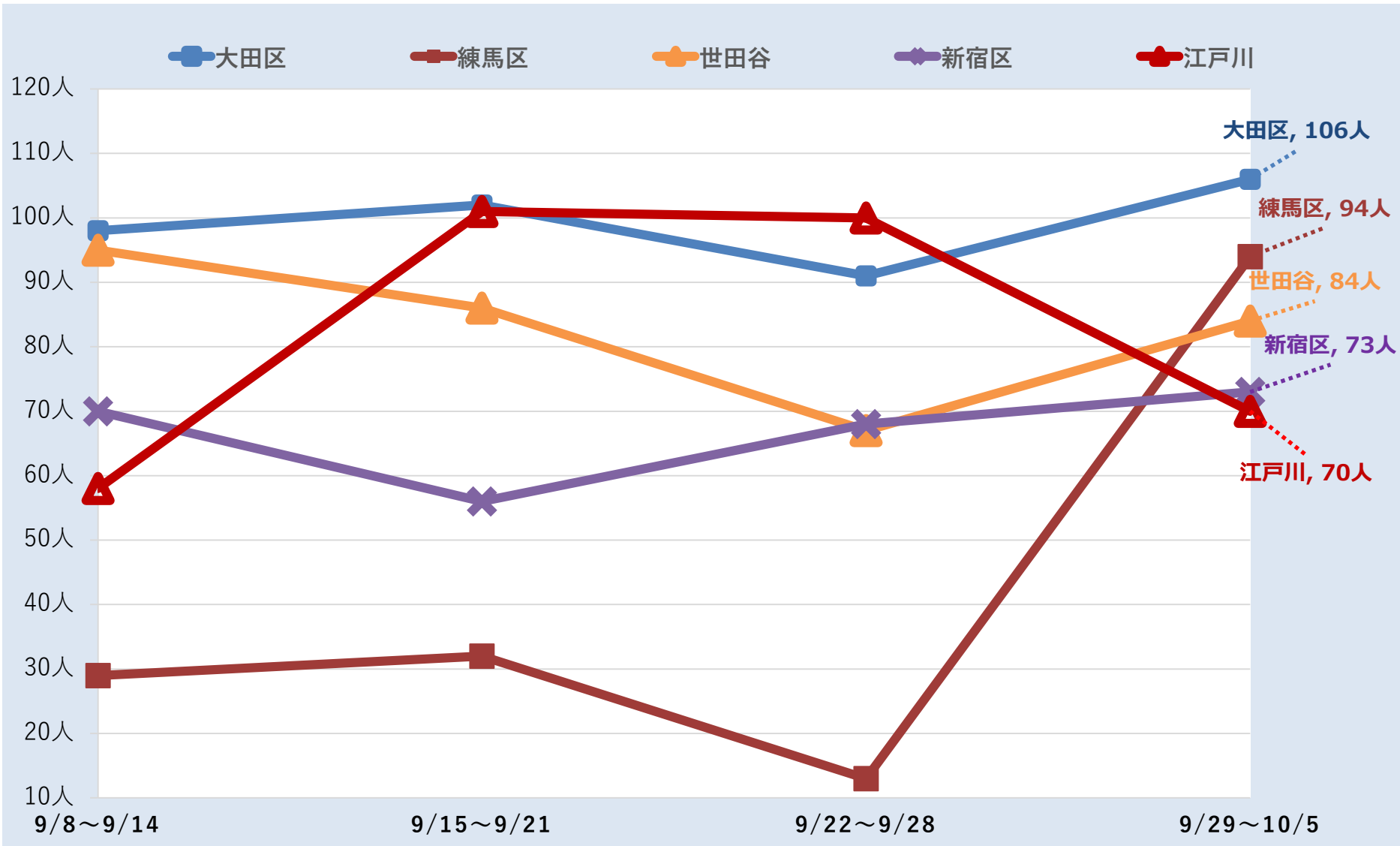
【感染状況】 ①-4 新規陽性者数（濃厚接触者における感染経路）

- 同居
- 施設
- 会食
- 職場
- 接待を伴う飲食
- その他



(注) 「施設」とは、保育園・学校等の教育施設、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、病院等

【感染状況】 ①-5 新規陽性者数（届出保健所別、今週の最多5地区、4週間推移）



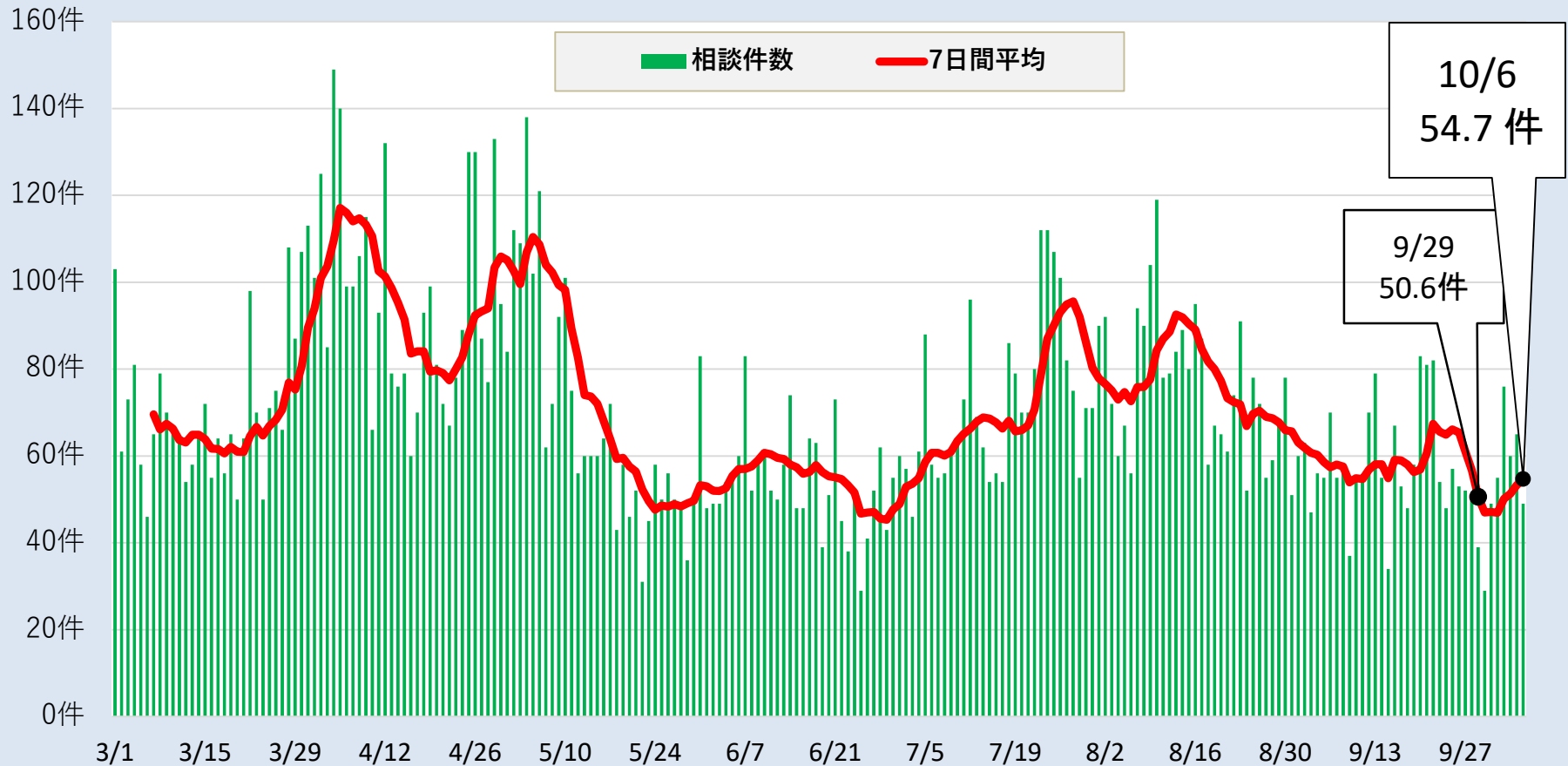
【感染状況】 ①-6 新規陽性者（届出保健所別、9/29～10/5）



上記は、各保健所管内の医療機関等で陽性が判明した数であり、当該地域の住民とは限らないものである。

【感染状況】 ② #7119における発熱等相談件数

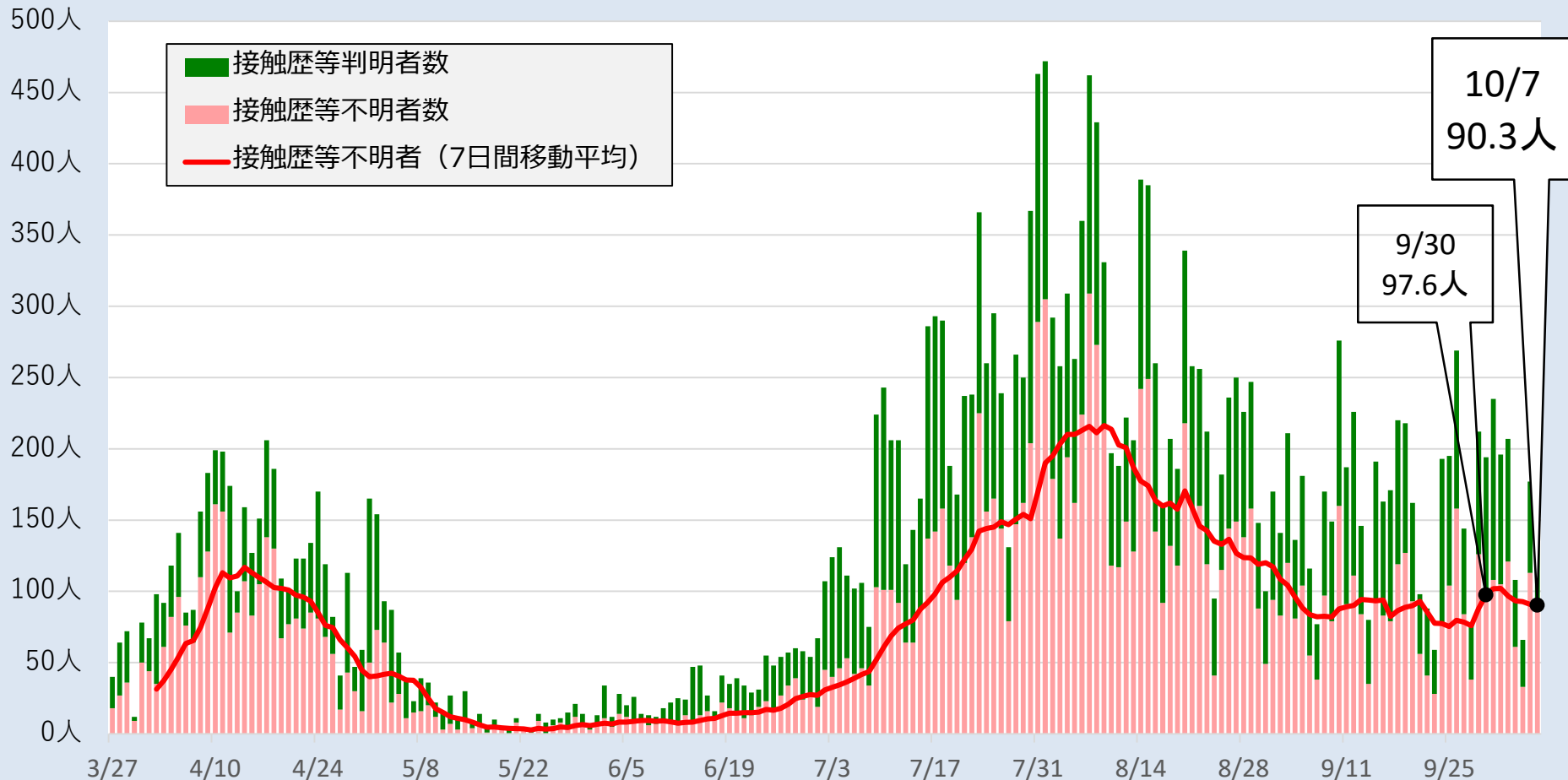
- #7119は、感染拡大の早期予兆の指標の1つとして、モニタリングしている。
- #7119の7日間平均は、横ばいであった。



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

【感染状況】 ③-1 新規陽性者における接触歴等不明者数・増加比

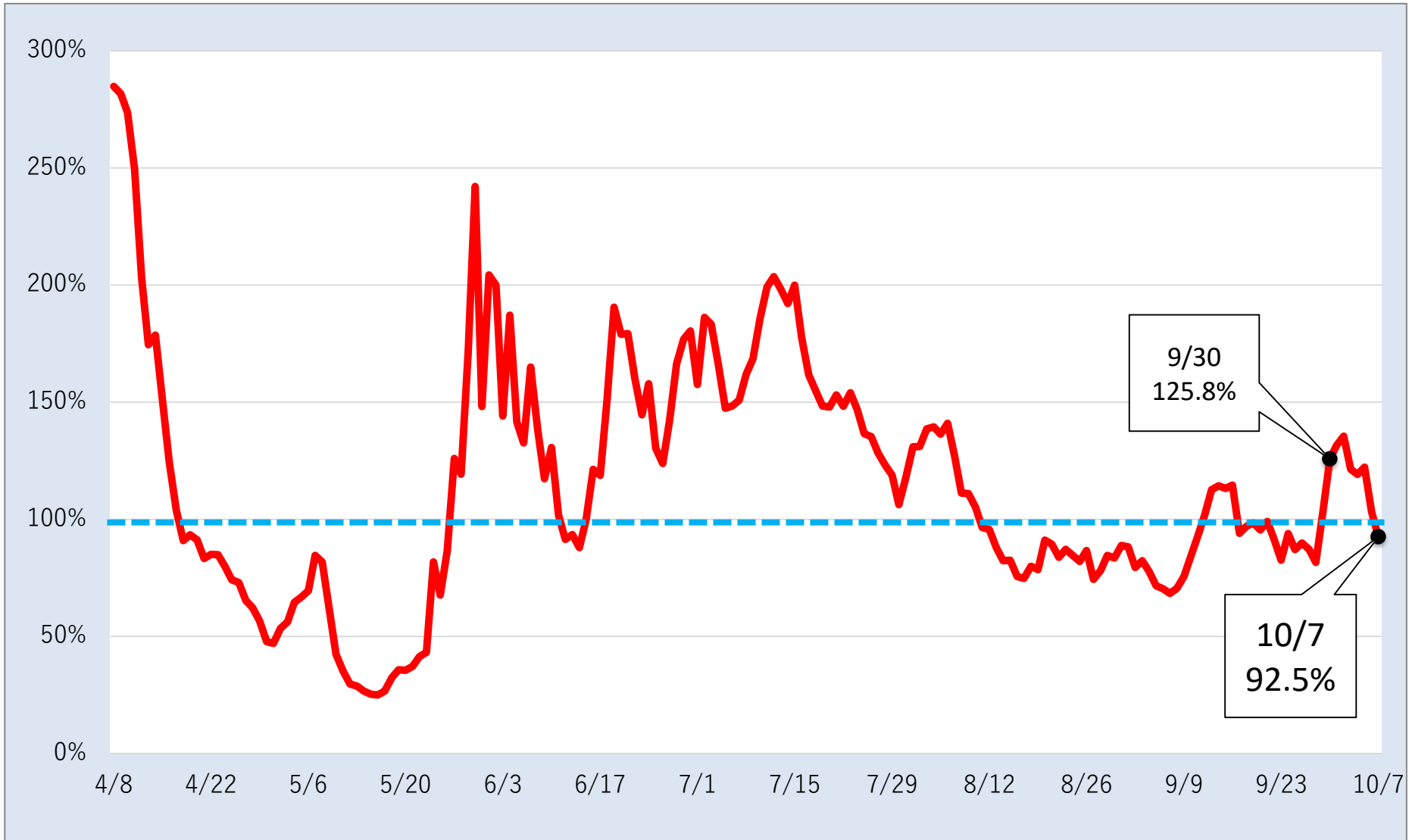
- 接触歴等不明者数の7日間平均は、横ばいであるが、依然として高水準が続いている。
- 接触歴不明者の増加比が100%に近い数値で推移しているため、今後の急速な増加を警戒すべき状況にある。



(注) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を不明率として算出

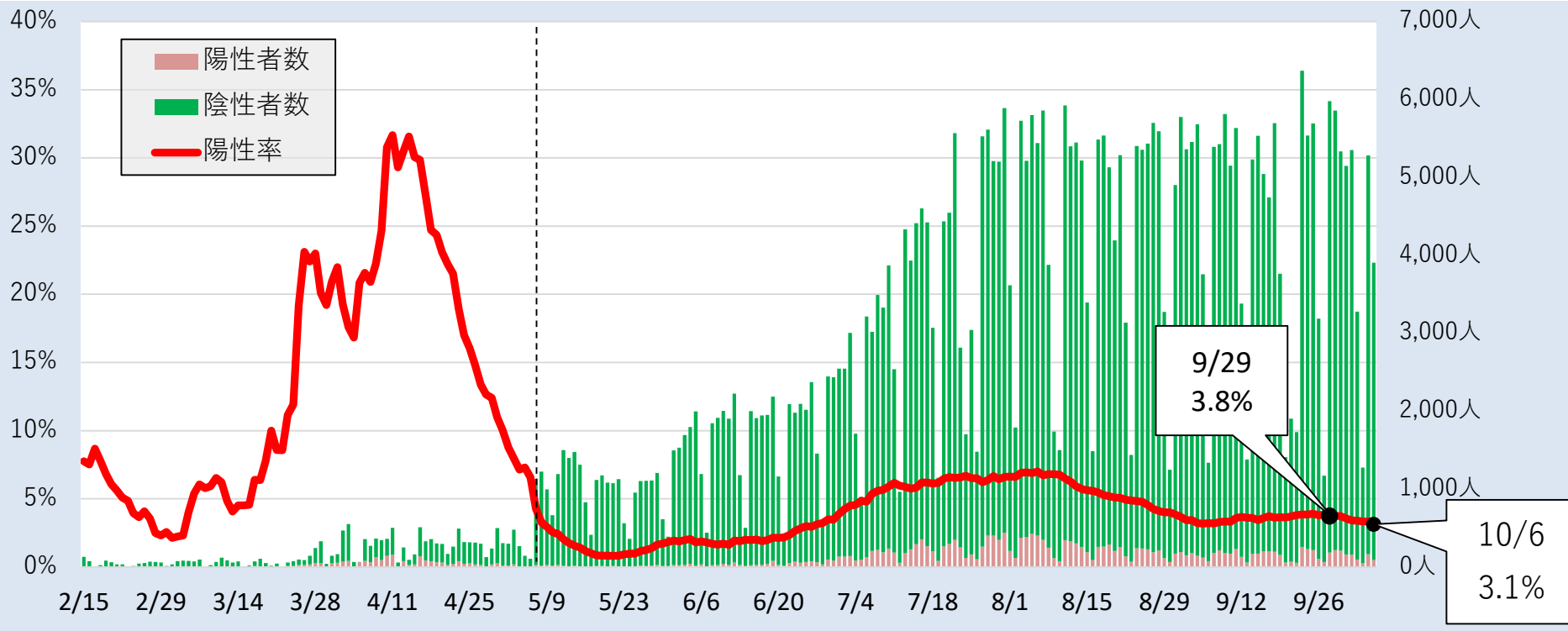
(注) 濃厚接触者など、患者の発生状況の内訳の公表を開始した3月27日から作成

【感染状況】 ③-2 新規陽性者における接触歴等不明者（増加比）



【医療提供体制】④ 検査の陽性率（PCR・抗原）

- 7日間平均のPCR検査等の検査件数は横ばいで、新規陽性者数の減少により陽性率は低下したが、7日間平均の検査件数と陽性率は、今後の推移に注視する必要がある。



(注) 陽性率：陽性判明数（PCR・抗原）の移動平均／検査人数（＝陽性判明数（PCR・抗原）＋陰性判明数（PCR・抗原））の移動平均

(注) 集団感染発生や曜日による数値のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値をもとに算出し、折れ線グラフで示す（例えば、5月7日の陽性率は、5月1日から5月7日までの実績平均を用いて算出）

(注) 検査結果の判明日を基準とする

(注) 5月7日以降は(1)東京都健康安全研究センター、(2)PCRセンター（地域外来・検査センター）、(3)医療機関での保険適用検査実績により算出。4月10日～5月6日は(3)が含まれず(1)(2)のみ、4月9日以前は(2)(3)が含まれず(1)のみのデータ

(注) 5月13日から6月16日までに行われた抗原検査については、結果が陰性の場合、PCR検査での確定検査が必要であったため、検査件数の二重計上を避けるため、陽性判明数のみ計上。6月17日以降に行われた抗原検査については、陽性判明数、陰性判明数の両方を計上

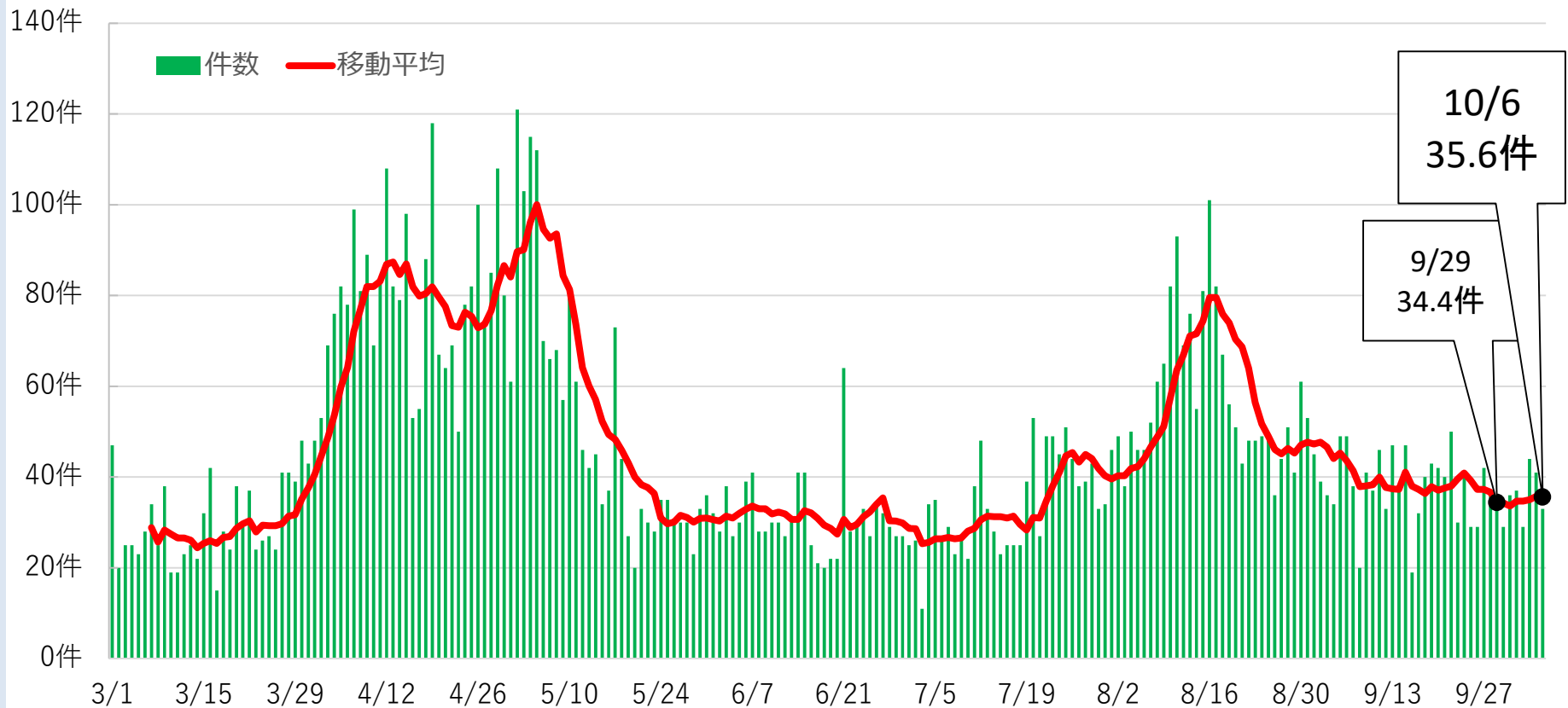
(注) 陰性確認のために行った検査の実施人数は含まない

(注) 陽性者が1月24日、25日、30日、2月13日にそれぞれ1名、2月14日に2名発生しているが、有意な数値がとれる2月15日から作成

(注) 速報値として公表するものであり、後日確定データとして修正される場合がある

【医療提供体制】 ⑤ 救急医療の東京ルール件数

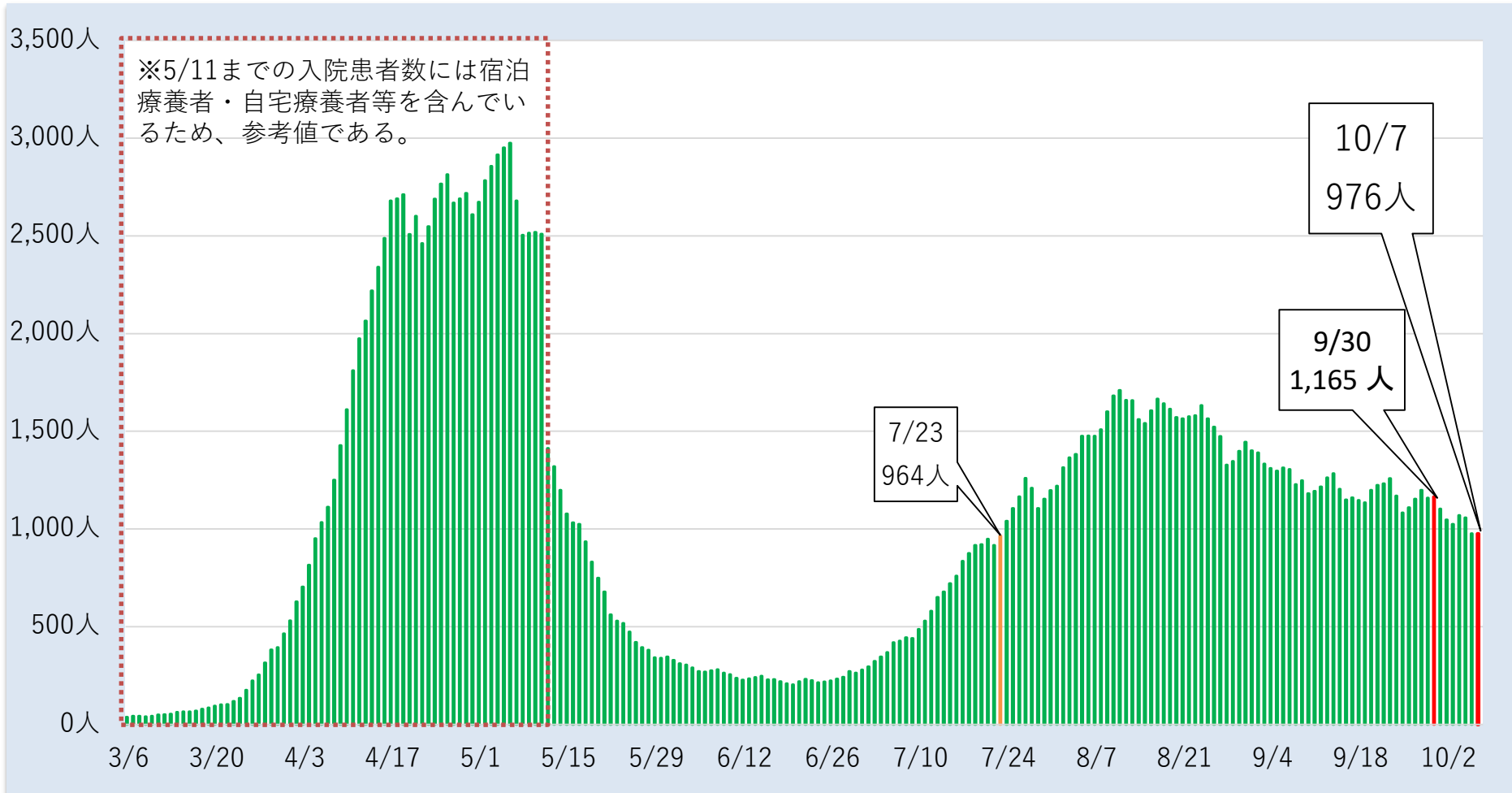
- 東京ルールの適用件数は、35件前後で推移している。
- 東京ルールの適用件数の7日間平均の件数は、前回とほぼ同数であった。



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

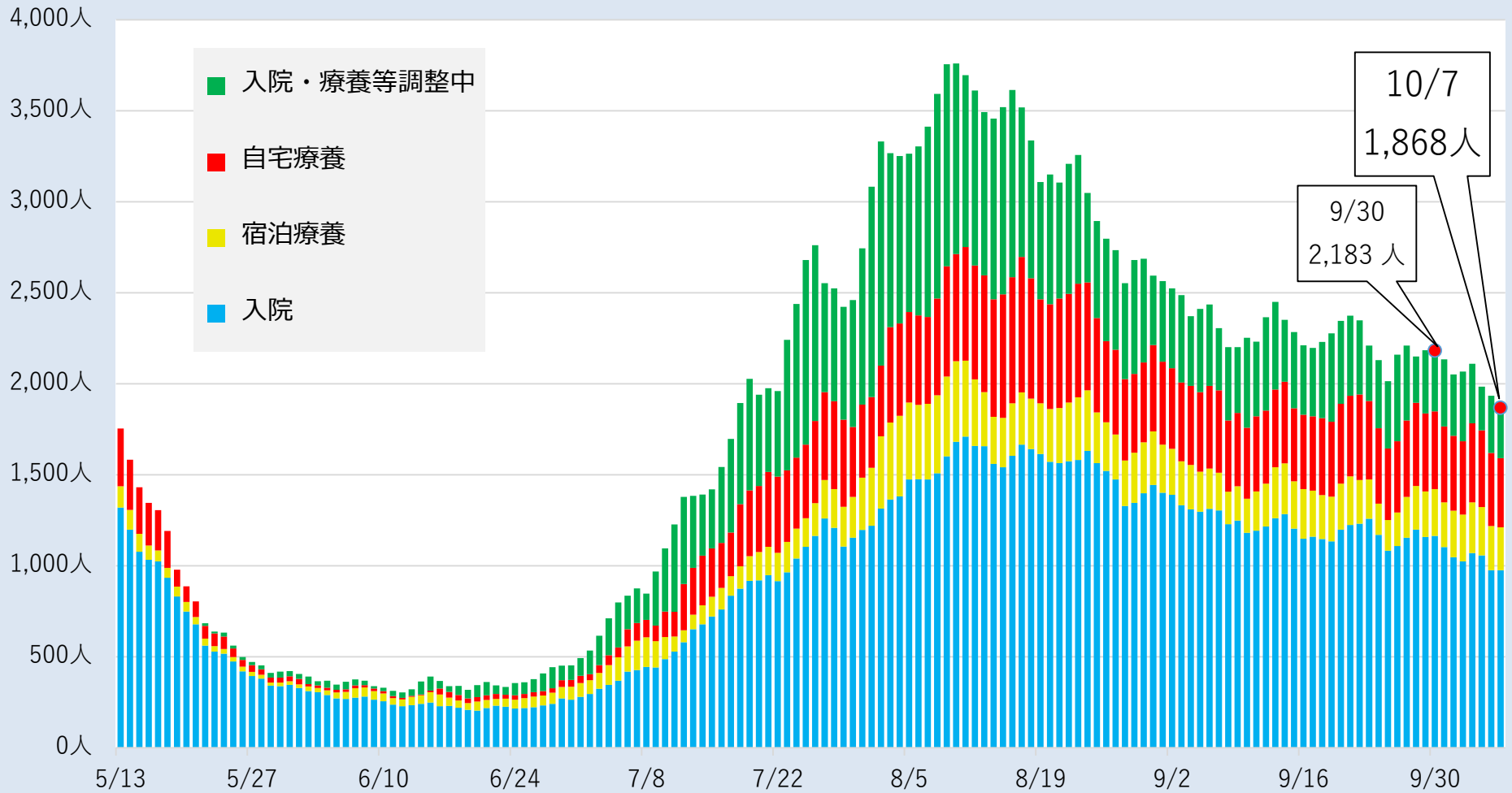
【医療提供体制】⑥-1 入院患者数

- 入院患者数は7月23日以来、約2か月半ぶりに1,000人を下回ったが、依然として高い水準で推移している。
- 入院患者数は減少したが、医療機関への負担が強い状況が長期化している。



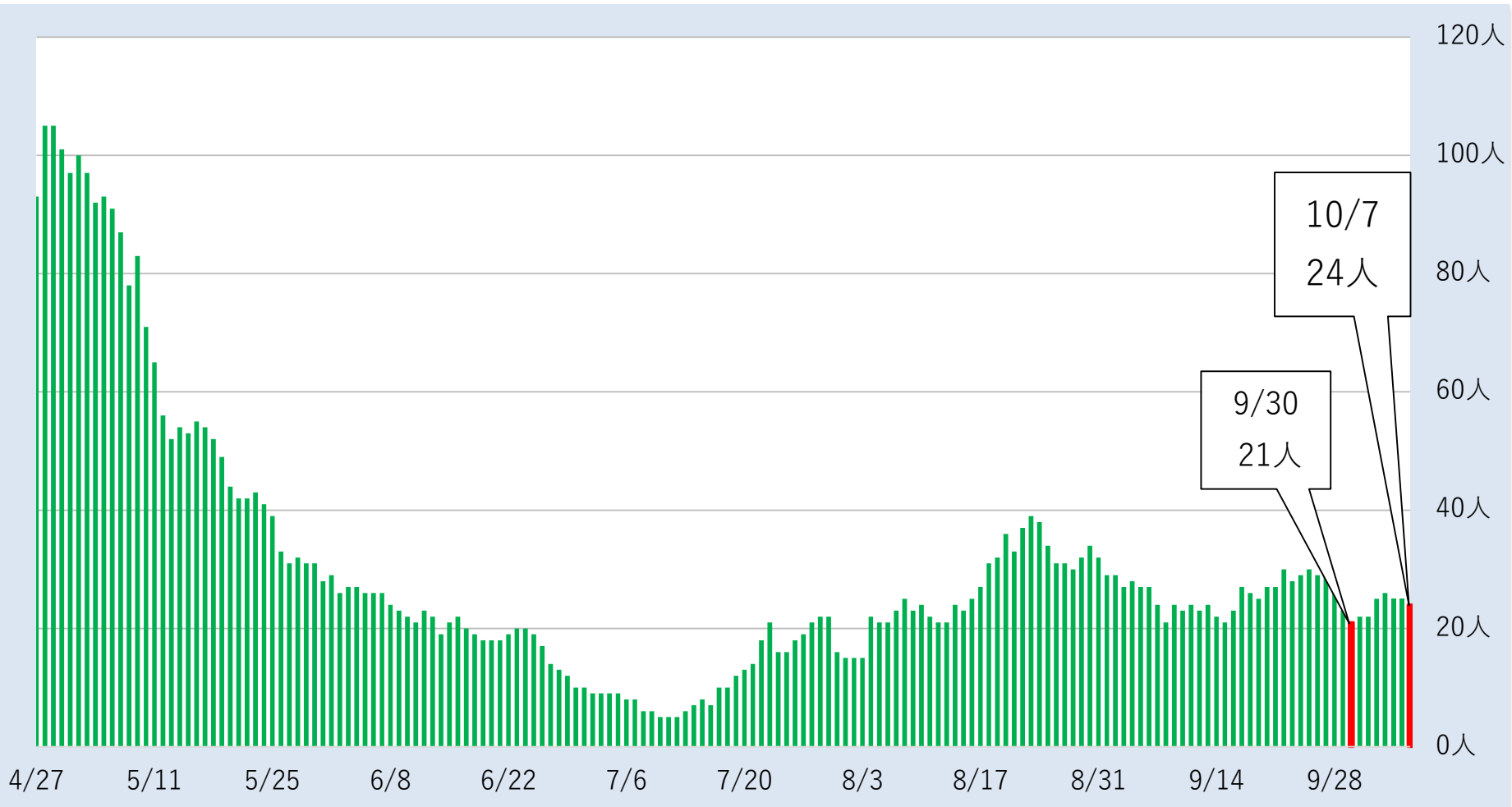
(注) 当サイトにおいて入院患者数の公表を開始した3月6日から作成

【医療提供体制】 ⑥-2 検査陽性者の療養状況



【医療提供体制】 ⑦-1 重症患者数

- 重症患者数が再び増加したため、今後の推移に警戒が必要である。
- 死亡者数は減少しているが、引き続き注視する必要がある。



(注) 入院患者数のうち、人工呼吸器管理（ECMOを含む）が必要な患者数を計上
上記の考え方で重症患者数の計上を開始した4月27日から作成

【医療提供体制】 ⑦-2 重症患者数（年代別）

